

みなさん、こんにちは。

気がつけば、日本語の勉強を始めてから もう6年以上の歳月が経ちました。6年前にアニメの「名探偵コナン」に夢中だった私は、五十音がわからなければ、暗号を理解したり、問題を解決することができない、と気がついて、独学で日本語の勉強を始めました。はじめは五十音の勉強から始めましたが、先生がいなかったので、いろんな苦勞をしました。そのころ、スマホはともかく携帯すら持っていなかったのも、私は正しい情報がわからなくて、二年間仮名の発音を読み間違えたまま、勉強していました。

その後、「日本に行ったら日本語は自動的に上手になれる」、というウワサを聞いて、「それなら日本へ留学したい!」、という夢が芽生えました。今は、日本に行っても努力をしなければ、日本語は上手になれない、ということがよくわかりましたが。

高校生になると、アニメの代わりに日本のドラマに夢中になりました。最初は軽い気持ちで見ていたんですが、日本のドラマは、現実的な問題をつつみ隠さずテーマとして扱う、とか、ものすごく共感できる深いセリフがたくさん入っている、とか、数多くの魅力があり、気付いたらもう夢中になっていました。今までに見たドラマはもう数え切れません。大好きなドラマを繰り返し見ているうちに、日本語力も少しずつ上がってきました。

ある日「重版出来」というドラマを見ているときに、私は中国語の字幕を見ないでドラマを見ていることに気がつきました。そして、ドラマの最後の感動的なセリフを聞いた瞬間、なぜだかわかりませんが、涙がボロボロ出ました。日本語を聞いて、感動して涙が出たんです。

そのとき、日本語を勉強して本当によかったと思いました。日本語がわからなかったら、字幕を読んでいるだけだったら、この感動を思い知ることは、一生なかったでしょう。

私の家族は引きこもり系で、私以外の人には、パスポートとビザの違いすらわかりませんでした。

ですから、日本へ留学したいという夢は、学校の先生には何度も言いましたが、家の人には一度も言ったことがありませんでした。家族は私の夢を理解してくれないと思ったので、「このまま一生日本に行かずに死ぬかも」と思っていたこともしばしばです。

転機が来たのは、2016年の秋でした。大ブームとなったドラマ、「逃げるは恥だが役に立つ」が放送され、私もその沼に落ちてしまいました。あ、みなさん、「沼に落ちる」という言葉をごぞんじですか？

何かにとっても夢中になることを、「沼に落ちる」と言うそうですね。

私は沼に落ちて、ドラマを繰り返し見るだけではなく、原作の漫画も全巻買って読みました。休みの時間も全部「恋ダンス」の練習についやしました。あのドラマのおもしろいところは、有名番組のパロディやガッキーのかわいさだけではなく、社会問題も取り入れられているところです。私はこのドラマから、日本人の考え方や、日本で起きている社会問題を知ることができました。そして、「逃げ恥」マジックに全面降伏した私は、やっと「本気で・・・絶対に日本に留学してやる！」という決心したのです。

日本へ来た私は、ドラマのロケ地に実際に行く「聖地巡礼」ができました。それに、毎日日本語を喋ることができるし、新しい単語をたくさん調べたり、知識を得る楽しさを毎日感じられて、今すごく嬉しいです。

私は日本の作品から、大切なことをたくさん教わりました。目上の人を尊重するとか、ルールをちゃんと守るとか、感謝の気持ちをしっかり持つ、などです。

そして、落ち込んでいたときに励ましてくれたり、臆病になったときに勇気をくれたり、もし日本のアニメやドラマに出会わなかったら、自分の人生はどうなっていたか、想像できません。もちろん、ここでスピーチすることはありませんし、いまだに五十音が何かもわからなかったはずです。日本のドラマやアニメに出会えて、本当によかったです。

これからも日本の作品をより深く理解するため、日本語の勉強を続けていくつもりです。いつか辞書を使わないで、作品を完全に理解できる日が来てくれたらいいと思っています。その時、きっと私は、作品以外のことも理解できるようになっていると思います。